



度会町議会 だより

平成26年 3月6日～14日
第1回定例会 19議案・議員発議1件を可決

○26年度当初予算

◆町税6億8000万円余≒人件費6億9000万円余が示す依然厳しい依存財政の中で／・子育て・保健福祉・環境・産業・インフラ整備・ひと・もの・情報が連携し発信できるまちへ道の駅整備構想の住民意識調査経費などを見込み——一般会計に33億4000万円余

予算決算常任委員会 から付帯意見つく!

今後道の駅関連の予算に関しては、議会と十分に協議し、執行されたい。

◆統合事業大詰めへ—簡水会計7億5500万円余

◆時代は社会保障へ—国保会計9億円余

◆後期高齢者医療会計1億6700万円余

◆介護保険会計7億9900万円余

議員提出議案

◆発議第1号 専決処分事項の指定(工事契約変更)

審査の内容 通常、議決を要する5千万円を超える契約については、精算等に伴う変更契約も議決が必要となる。議会が指定する範囲内においてはその都度、臨時議会を開かずとも町長の専決処分を認める制度。(地方自治法第180条第1項)

私たちの任期もあと1年余りとなりますが、「議会だより」と「町広報誌」の編集が一部で重複することに疑問の声が出てまいりました。

この声を尊重し、今回から議会で議論され、審議された内容に重点を置く編集スタイルに変更します。なお、本会議の様子は引き続き、テレビ放映や議会の傍聴(詳しくは議会事務局にお尋ねください。)をご利用いただきますようお願いいたします。——今後も、年4回の定例会を中心に発行します。議決予算額や議案の主な内容は「町広報誌:先月号」をご覧ください。

ふるさとの食、住、健康施策に
唯、足るを求める。26年産の米
づくりと共に、まちづくり予算
がスタート。

広報委員

登 喜三雄 木本 タエ子
岡村 広彦 舟瀬 勝
濱岡 裕之 牧 幸作

今回指定議決に至った契約

今回指定議決に至った契約

「平成25年度度会町防災行政無線操作卓及び情報配信装置設置工事—当初契約金額6195万円」

この工事が一部の納品の遅れ等から4月以降翌年度へ繰り越されることになり、消費税率5%から8%への対応が必要となったものですが、安易に消費税の増額分を算定する前に、年度内に完成する見込みのものなどをよく分析協議し全体の変更に臨むよう求め、そのうえで変更契約の範囲を契約金額の3%以内としたものです。3月10日、中村議長の下、全員協議会を開催し執行部の分析結果を踏まえて議員発議(提出者—牧幸作)に至りました。

議案に対する質疑

○平成26年度一般会計予算

・庁舎等電気使用料(1112万7千円)は19年度から調べ、比較すると40%ほど増加している。この要因は何か!

・道の駅関連予算500万ほどを提案されたことに
対する町長の政治姿勢について

「道の駅構想」については、町長のトップダウン的な発想をもとに平成25年度において、概ね400万円の予算を以って「道の駅基本構想」の策定作業が

進められてきたところであり、この成果品としてA4判68頁の小冊子「度会町・道の駅基本構想(案)」が去る12月12日、私ども町議会、議員懇談会、場に配布され30分ほどの要点説明を受けたところで。しかし、25年度で策定された『基本構想(案)』がまだ総括されていません。
豊かな自然をどのようにして伝えるのか:誰の創意と工夫で集荷・出荷体制ができるのか:他の直売所がない特色を持つことが課題だとなるがどんな特色を考えるのか:これらが示されていません。
(案)のまま、この構想(案)が良いものか?ダメなものか?いずれとも方向づけられていません。
決して豊かでない度会町の財政を思う時、「道の駅」が「負の遺産」となり度会町の将来を危うくさせてはなりません!焦らず、議論を尽くさなければなりません!それなのに、なぜ、26年度予算に次の段階に進もうとする「道の駅」関連予算を計上したのか、町長の政治姿勢をお聞かせください。

・「地域減災力推進補助金」に家具転倒防止は対象となっていないのか、詳細を聞きたい。

○非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する
条例の一部改正

・退職報奨金を増額する改正条例の施行日が4月1日となっているが、3月31日に退団される団員には適用されないのか!また4月1日、同日付で退団と新規任用を行う運用はできないのか!

予算決算常任委員会

委員長 芝山延男 副委員長 舟瀬勝
委員 議長を除く他全議員

○平成26年度一般会計予算

・森林環境税創設議員連盟負担金(2万円)は、その役割を終えたのではないか!

・議員報酬費総額が対前年度比28万1千円増加しているのは、委員長手当が影響しているのか!

・地方消費税交付金が対前年度比600万円増加しているが、消費税率アップに伴うものか!またさうであるなら、国が示す全額社会保障経費に充て

るとする歳出予算の充当先は!

・災害救助費の災害弔慰金の算出根拠は!
・インターネットサーバー等更新業務委託料(440万8千円)について、機器サーバーはどこに設置され、またその業務内容は!
・47行政ジャーナル利用料(38万2千円)と総合GISシステム使用料(38万9千円)の業務内容と契約先は!

・道の駅に関する住民アンケートの方法と時期は!

*この後町長に出席を求め道の駅関連予算について審議する。

・25年度作成の「道の駅基本構想(案)」について、町長は(案)を説明し、その後議会からの意見が届かなかったとし、基本構想は制定されているとの認識に立っている。しかし、議会は(案)のままであるとの認識である。この隔たりは埋まらず、よって、政策調整室関係分の予算は、継続審査とした。

その後、執行部を除き、議会議員による審議を経て、道の駅関連予算の執行について、当委員会の付帯意見を付け承認することとし、全体を可決すべきものとした。

・美し国おこし・三重負担金(50万円)の算出根拠等!

・徴税費の賦課徴収費が対前年度比324万円余減額する要因は、固定資産評価替えに係るものとの説明があったが、評価替えの時期は!

・地方消費税交付金の今後の見通し!

・ソーラー発電と風力発電敷地の固定資産税の算定基準は!

・わたらい緑清苑建設償還費雑入(2540万2千円)はいつまで続くのか!

・児童措置費3歳(中学校終了前補助金の内訳は!)
・諸収入:地域包括支援センター計画作成料等(486万円)はどこから入り、歳出の計画に関する充当先は!
・塵芥処理費の工事請負費の計画内容は!

- ・ごみ袋の消費税アップの影響は！
- ・ごみ収集車購入予算の執行(耐用年数、発注方法等)計画は！

- ・給食業務の外部委託料(2747万7千円)の内容は！

- ・中川第2グラウンド仮設トイレ借上料(8千円)は不要となるのでは！

- ・小学校費に計上された棚橋コミュニティセンターへのトイレ設置計画は、棚橋区の厚意に感謝する一方で維持管理・施設の帰属先を整理されたい！

○平成25年度一般会計補正予算(第5号)

- ・消防費における防災行政無線整備事業(4514万円)が翌年度へ繰り越されたが、同時に地方債の補正は必要としないのか！

- 平成26年度簡易水道事業特別会計予算(簡水統合整備事業分)

- ・説明欄に地積測量等業務委託料として予算計上されているが、国土調査に基づくものか！
- ・取水施設の計画用地面積は！

総務教育常任委員会

委員長 牧幸作 副委員長 岡村広彦
委員 木本タエ子 福井秀治 中井利正 中村忠彦

○平成26年度国民健康保険特別会計予算

- ・国民健康保険税の課税限度額の見直しと低所得者に係る保険税軽減の拡充施策について審議した。

【大綱の概要】

- ・国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を16万円(現行14万円)に、介護納付金課税額に係る課税限度額を14万円(現行12万円)に引き上げる。
- ・低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引上げ等を行う。

○平成26年度度会郡指導主事共同設置事業特別会計予算

- ・人件費(2名の先生)を4町(度会・玉城・南伊勢・大紀)において、均等割(40%)、児童数割

3月14日 一般質問 (通告書より要約)

福井秀治

●少子化対策について

少子化の流れに歯止めがかからない状況となっています。このまま次世代を担う子供の減少傾向が続けば、生産年齢人口の減少による経済活動の縮小に加え、超高齢化社会の到来に伴う社会保障制度の負担の増大とも相まって近い将来、国家的な危機を招きかねない大きな課題となっております。

三重県では新年度予算で最重要施策として少子化対策を掲げ、結婚したい人が結婚でき、子供を産みたい人が安心して産み育てられるを目標に人生の段階ごとの支援策を打ち出しております。市町の実情に応じたきめ細やかな支援が実施できるように各種のプランが用意されております。度会町では出生率の低下はもとより若者の都市部への流出も考えねばならず厳しい環境にあり、総合的に幅広く施策を展開していかざるを得ないと考えます。町長として少子化対策にかける思いについてお聞かせください。



登喜三雄

●わが町のホームページに見るIT戦略について

瞬時に大きな広がりを示す情報化社会が到来し、(60%)で算出し予算計上されていることを審査確認した。

○度会町放置自転車等の設置防止に関する条例
通報(発見)→14日経過・撤去→申し出・費用徴収
又は6ヶ月経過・町に帰属：制度について審議

産業福祉常任委員会

委員長 濱岡裕之 副委員長 登喜三雄
委員 舟瀬勝 八木淳 芝山延男 中森慰

○平成26年度簡易水道事業特別会計予算

- ・水道料金の消費税アップの転嫁時期は！

○平成26年度介護保険特別会計予算

予期せぬ効果が生まれています。わが町のホームページに見るIT戦略と費用対効果並びに課題について問う。

●福祉業務名と建物(場所)の表示が混同されがちだ。よい思案はないか！

- ・地域包括支援センター・地域交流センター・地域福祉センター・保健センター・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・障害者支援センター
- ・仕事の名前か建物(場所)の名前か混同されがちです。町民目線で見直し、整理する必要がある。よい思案はないか。

●消防団員の確保対策と団員の交流を深め、減災に寄与する施策について

団員の確保・団組織の確立に尽力されている現状と将来展望などについて質問する。

提案



- ・女性団員を募り、団活動の後方支援を担っていただく。
- ・以前存在した、役場職員による防護団に代わる体制整備。
- ・自主防災組織の中に「消防器消防隊」を結成しあ
- ・種々の消防活動を担っていただく。
- ・団員の交流を深め減災に寄与することを目的に、いわゆる「出動手当」の項目に可搬ポンプの点

- ・地域支援事業費に計上された「成年後見人制度利用支援事業意見書手数料」の制度の在り方は！

○平成25年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

- ・介護保険システム情報等作業委託料が増額される根拠は！

○度会広域連合の処理する事務の変更及び度会広域連合規約の変更に関する協議について

- ・規約中：「障害程度区分認定審査会」を「障害支援区分認定審査会」に改める意味合いは！

※紙面の都合により、「議会の記録」と「その他特定議員活動」の記事を割愛しました。

検、消火栓ボックスとホース格納箱の点検、自主防災活動の助言指導、高齢者世帯の防火指導などを加える。

濱岡裕之

●旧一之瀬小学校の活用について

- ・閉校から現在に至る経過と今後の見通し・町主体による活用計画の有無・栗山グラウンドなどスポーツ施設と併用した「星座観察」利用の提案・日帰り観光の拠点化と隣町に見る(野原工房げんき村)地域交流の拠点化への提案

●緊急時における携帯電話の圏外通信対策及び個人・法人の山林等の財産保護対策について

2月25日に発生した一之瀬地区(川上)の山林火災を顧みて、

- ・町面積の大部分を占める山林では携帯電話が圏外エリアとなります。災害時の通信の確保対策は！
- ・個人・法人所有の山林財産を保護する火災等防止対策は！

●町管理の橋梁について

平成26年7月、国土交通省が指示した橋梁の点検による、要耐震橋梁の対応状況、老朽化のため危険性のある橋梁の有無及び五郎ヶ瀬橋(大正14年完成、和井野・南中村間に架かる)の通行規制と今後の対応は！

参加式典等

- 3月1日 県立南伊勢高等学校 度会校舎卒業式
- 3月7日 度会中学校卒業式
- 3月18日 度会小学校卒業式
- 4月7日 度会小学校入学式
- 4月8日 度会中学校入学式



友を大切に、ガンバレ新中学生!



黄色のハンカチとヘルメットに守られて!